

# 全労済協会だより

vol.43

## CONTENTS

- 公募委託調査研究(2008年度採用) ..... 1  
〈希望のもてる社会づくり〉  
「ポスト福祉国家の時代における  
共生社会の可能性とベーシック・インカム論」  
神戸大学大学院法学研究科教授 飯田文雄氏による研  
究の報告概要です。
- 全労済協会統合5周年記念事業 ..... 3  
「希望のもてる社会づくり—いま、地域を考える」  
内容報告のお知らせ  
全労済協会統合5周年となる2009年度は記念事業とし  
て、シンポジウムと記念講演会を組み合わせたフォーラ  
ムを東京・福岡にて開催しました。
- 締切迫る!2010年度公募委託調査研究を  
募集中です。 ..... 4
- 第125回理事会および第30回評議員会報告 ..... 4  
7月23日(金)に開催しました理事会・評議員会について  
報告します。
- 全労済協会からのお知らせ ..... 4  
●当面のスケジュール

### 公募委託調査研究(2008年度採用)

〈希望のもてる社会づくり〉

## 「ポスト福祉国家の時代における

## 共生社会の可能性とベーシック・インカム論」

神戸大学大学院法学研究科教授 飯田文雄

2008年度の公募委託調査研究の募集テーマ「希望のもてる社会づくり」で採用された、神戸大学大学院法学研究科教授 飯田文雄氏による「ポスト福祉国家の時代における共生社会の可能性とベーシック・インカム論」について、当協会に対して研究成果の報告がありました。その概要を掲載します。

今回ご紹介した報告は、研究報告誌として後日発行する予定です。

### 報告書概要

本報告書の目的は、近年経済的・政治的格差の拡大と共に、欧米を中心に高い注目を集めつつある、いわゆるベーシック・インカム論の内容について、共生社会論との関係から多角的・総合的な分析を試みることにある。

まず、本報告書の前半部分では、ベーシック・インカム論それ自体が、今日なお世界のいずれの国家においても実現されていないことを勘案し、ベーシック・インカム論そのものの内容と形成過程に関して多角的な考察を行った。

第1章では、本稿における考察の主要な対象を明確化するために、本稿で取り扱う現代型のベーシック・インカム論、すなわち、1970年代以降登場したベーシック・インカム論の基本構造について、その第一人者、ベルギ

ーのパライスの所説を手がかりに、多様な視角から総合的な検討を行った。具体的には、本報告書ではまず、現代型ベーシック・インカム論の基本的な特徴を、①定期的に与えられる現金所得、②政治的共同体による支払い、③メンバー全員に対する、④個人単位、⑤資産調査なしで、⑥労働要件なしに、という論点に類型化した。その上で、それぞれの論点に則しつつ、ベーシック・インカム論が、既存の所得保障政策といかなる差異を有しているか、各論点に対応した具体的制度構想などの諸論点等に関して考察を行った。更に、この章では、ベーシック・インカム論と類似の政策的目的を持つ様々な所得補償政策として、①社会保険給付、②社会扶助給付、③カテゴリー別給付、④自由裁量給付、⑤職域給付、⑥財政移転、

という諸類型を挙げ、それらと比較したベーシック・インカム論の特色や意義等についても検討を加えた。

第2章では、現代型ベーシック・インカム論が、必ずしも現代社会に固有の議論ではなく、むしろ一定の歴史的伝統の中で発展してきたものであることを確認するため、多様な思想史・歴史上の所得保障論の流れと、現代型ベーシック・インカム論の比較を行った。そのため、具体的には、①18世紀のベーシック・インカム論者として、トマス・ペイン、スペンス②19世紀のベーシック・インカム論者として、シャルル・フーリエ、ジョセフ・シャルリエ、J.S.ミル、③20世紀前半のベーシック・インカム論者として、C.H.ダグラス、ジェームス・ミード、④20世紀後半のベーシック・インカム論者として、パライス等を探り上げ、今日のベーシック・インカム論が形成される史的背景を考察した。また、この章では、こうした理論的な議論の動向に加えて、現実の政策過程の中で史上生じたベーシック・インカム論の具体的構想として、19世紀のスピーナムランド制や、20世紀後半のオランダ、アイルランド、ブラジル、カナダなどの政策論争の動向をも分析し、それが一定の実践的・政策論的な可能性を有した議論として台頭した経緯をも考察した。

次に報告書後半では、現代ベーシック・インカム論が、どのような制度構想上あるいは哲学的・倫理上の論争を巻き起こし、今後の共生社会構築に際していかなる示唆を与え得るかに関して検討を行った。

第3章では、こうした現代型ベーシック・インカム論そのものの多様性、とりわけその制度的な側面の多様性や特質について、いくつかの対立軸に着目しつつ類型化を試みた。そのため第一に、ベーシック・インカムの給付方法を巡る制度構想として、①毎月あるいは毎年単位の給付ではなく、ある年齢時点での一括給付を目指す、ブルース・アッカーマンらのステイクホルダー・グラント論、②所得税額に応じて現金を還付するという、ミルトン・フリードマンらの負の所得税論、を探り上げて、それぞれがベーシック・インカム論と比していかなる特色を有しているかを考察した。更に、ベーシック・インカムの財源調達面での制度構想について、①既存の税制枠組みを修正して活用する案として、ドイツのヴェルナーが提起した消費税案、②既存の税制枠組みにとらわれない新税を構築する例として、国際的な投機的為替取引に対して課税するトービン税の構想、③日本におけるベーシック・インカム論の試算例として、小沢修司の試算例、を探り上げて、各々の特色や問題点等を検討した。

第4章では、現代ベーシック・インカム論を取り巻く様々な賛成論・反対論のうち、その道徳的・哲学的な正当化可能性を巡る議論を分析した。そのためまず、現代平等論の全体的構造を概観するため、その代表的論者として知られる、ジョン・ロールズ、ロナルド・ドゥオーキンらの所説を、「資源主義」対「福利主義」という対立軸を用いて整理し、そこでの典型的な論点として、「有能な人の奴隷化slavery of the talented」「外的選好external preference」「高級すぎる嗜好expensive taste」等の諸論点を呈示した。その上で、こうした現代平等論の全体に共通する関心として、自己の選択に起因しない格差を公共政策によって補償し、自己の選択に起因する格差は補償しない、いわゆる「企図に敏感ambition-sensitive」で「才能に敏感endowment-sensitiveでない」補償原理への合意が成立しつつあることを指摘した。次に本報告書では、様々なベーシック・インカム論者相互の道徳的・哲学的立場の差異を、その労働なきフリーライダーに所得を与えることの正当化理論の差異、すなわち①「自然からの授かり物」説、②「雇用レント」説、③プラグマティックな議論④「プライスタグ」説、という4種の対立軸に着目して整理し、各類型と現代平等論の全体的な論争構造との連結関係を考察した。

第5章では、こうした現代ベーシック・インカム論が、共生社会論で問題となる様々な弱者集団との間に、どのような関係を切り結び、それらからどう評価され得るかに関して、多角的な検討を行った。そのため第一の人間類型として女性を探り上げ、その地位の向上に関して、ベーシック・インカム論が如何なる効果を及ぼすかを、積極説と複合効果説に類型化して考察した。更に、本報告書では、共生社会論の担い手となる第二の人間類型として外国人を探り上げ、外国人の地位向上とベーシック・インカム論との関係について、パライスの言語的正義論の内容を手がかりとして、多面的な考察を加えた。更に、第三の人間類型として労働者を探り上げ、彼らがベーシック・インカム論に示す様々な態度について、ベルギーのベーシック・インカム論者、バンダーボルグトの所説を手がかりに検討した。

最後に、本報告書では、ベーシック・インカム論が今後共生社会論の発展に資するために担うべき研究課題として、より多くの政治的弱者・少数派集団類型を視野に入れるとともに、従来 of 理論的研究を実証的研究と結合させることの必要性を指摘した。

以上

# 全労済協会統合5周年記念事業

## 「希望のもてる社会づくり—いま、地域を考える」内容報告のお知らせ

全労済協会5周年記念事業は、地域経済の疲弊や地域コミュニティの崩壊が叫ばれるなか、地域の抱える課題「防災」、「協同(コミュニティ)」、「活性化(まちづくりや地域での起業)」をテーマに東京・福岡4会場で合せて、1,500名を超える参加者を得て開催しました。この開催内容は「全労済協会ホームページ」上で掲載しています。なお、「報告書」としても発行しています。(8月12日完成予定)

\*「報告書」は、①「地域と防災」②「地域と協同」③「地域と活性化」(東京・福岡開催で1冊)を発行します。ご希望の方は、当協会ホームページ「冊子請求」の「シンポジウム・講演会報告誌」ページからお申込みください。

### ▶ 記念講演会『地域と防災』

●5月15日(土)13:00~16:00 (九段会館/千代田区)  
第1部 基調講演「大規模災害にどうやって備えるのか ~二度の地震の経験から~」 泉田裕彦氏(新潟県知事)

第2部 鼎談「どうすすめるか、これからの地域防災」 中井治氏(内閣府防災担当大臣)、泉田裕彦氏、古賀伸明氏(連合会長)

阪神淡路大震災から15年、それ以降も新潟中越地震など幾多の地震に見舞われ、そのたびに大きな被害を被りました。また、地震だけではなく台風、大雨による自然災害も頻繁に発生し、被災地域に大きな爪跡を残しました。昨今では東海地震や東南海地震の発生が叫ばれるなど、わが国における防災対策は喫緊の課題です。

本記念講演会では阪神淡路大震災などの被災の経験を防災、減災対策に生かす必要性や、国、行政や地域防災の担い手としての労働組合などの果たすべき役割、また住民どうしのネットワークや助け合いの必要性など、これからの地域における防災の課題と展望を明らかにします。

### ▶ 記念講演会「地域と協同」

●5月22日(土)13:00~17:00 (都久志会館ホール/福岡市)  
第1部 基調講演「地域の自立と再生」 片山善博氏(慶応義塾大学教授)

第2部 鼎談「どうつくるか、新しい地域コミュニティ」 辻元清美氏(国土交通副大臣(当時))、片山善博氏、笹森清氏(中央労福協会会長)

地域コミュニティが崩壊し、人とひとの繋がりが希薄になってきているなか、地域の抱える課題を解決するためには、地域での絆を取り戻し、地域コミュニティを再生させることが急務です。そのためには地域住民や行政、NPO、労働団体などが地域での社会的役割を果たしていくこと

が必要です。たんに国や自治体に依存するだけでなく、地域の諸組織や住民による協同で、これからの公共・福祉を担っていくことが求められています。本記念講演会では新しい時代を切り開くために不可欠な地域コミュニティづくりの課題と展望について探っています。

### ▶ シンポジウム「地域と活性化」

●5月24日(月)13:00~17:00 (スペース・ゼロ/渋谷区)  
第1部 基調講演「地域現場から描くソーシャルデザイン」 木村俊昭氏(農林水産省企画官)  
第2部 パネルディスカッション「地域力の創造に向けて」  
パネリスト 大湯章吉氏(能登乃國ゆするぎ塾長)  
猿舘祐子氏(株)土澤まちづくり会社専務取締役  
富永一夫氏(NPO法人フュージョン長池理事長)  
横石知二氏(株)いろどり代表取締役社長  
コーディネーター 岡崎昌之氏(法政大学教授)

●6月7日(月)13:00~17:00 (アクロス福岡国際会議場/福岡市)  
第1部 基調講演「地域現場から描くソーシャルデザイン」 木村俊昭氏(農林水産省企画官)  
第2部 パネルディスカッション「地域力の創造に向けて」  
パネリスト 豊重哲郎氏(鹿屋市串良町屋柳谷公民館館長)  
野上泰生氏(NPO法人ハットウ・オンパク運営室長)  
本田節氏(農家レストラン「ひまわり亭」代表)  
横石知二氏(株)いろどり代表取締役社長  
コーディネーター 岡崎昌之氏(法政大学教授)

地域社会・経済の疲弊が指摘されるなか、各地では地域資源を生かした地域おこしやまちづくりなどの取り組みが展開されてきています。これらの取り組みは、地域の特徴や資源を生かした地域に根ざした多様な取り組み

として注目されています。本シンポジウムでは、多様で具体的実践経験、事例のなかから、各地で取り組まれている活動を共有化するとともに、地域活性化へ向けたこれからの可能性を探っています。

# 締切迫る!2010年度公募委託調査研究を募集中です。

全労済協会では、勤労者福祉・生活に関連するテーマの調査・研究を募集しております。概要は、下記のとおりです。

研究機会の提供の観点で、若手研究者を積極的に採用します。締切が迫ってきましたので、応募される方はお急ぎください。

## ▶2010年度公募委託調査研究の概要

**募集研究テーマ**：「絆の広がる社会づくり」  
**募集期間**：2010年6月10日(木)  
 ～8月31日(火)17時(必着)。  
**委託費総額**：1,200万円  
 (採用研究は6件程度を予定しています。)

☆詳しくは全労済協会ホームページをご覧ください  
 (募集要項や申請書を掲載しております)。

●全労済協会ホームページ  
<http://www.zenrosaikyokai.or.jp>

## 第125回理事会および第30回評議員会報告

第125回理事会・第30回評議員会について、下記のとおり開催いたしました。  
 なお、若干の質疑を行いながら協議を行ったすべての議案について、承認されました。

### (1)第125回理事会

- 日時 2010年7月23日(金)15時開会
- 場所 ホテルサンルートプラザ新宿
- 議題 第1号議案 2009年度事業報告・決算報告承認に関する件
  - ①2009年度事業報告
  - ②2009年度決算報告
  - ③2009年度監査人の監査報告書
  - ④2009年度監査報告
- 第2号議案 2010年度補正予算(案)に関する件
- 第3号議案 2010年度機関会議等の日程に関する件
- 第4号議案 2010年度事業計画における「特別な対応」に関する件
- 第5号議案 評議員の選出(交代)に関する件

### (2)第30回評議員会

- 日時 2010年7月23日(金)13時開会
- 場所 ホテルサンルートプラザ新宿
- 議題 第1号議案 2009年度事業報告・決算報告承認に関する件
  - ①2009年度事業報告
  - ②2009年度決算報告
  - ③2009年度監査人の監査報告書
  - ④2009年度監査報告
- 第2号議案 2010年度補正予算(案)に関する件
- 第3号議案 2010年度機関会議等の日程に関する件
- 第4号議案 2010年度事業計画における「特別な対応」に関する件

## 全労済協会からのお知らせ

### ▶全労済協会当面のスケジュール

日時	内容	主な議題など
6月10日(木)～8月31日(火)	2010年度公募委託調査研究募集	
9月21日(火)	第10回地域社会研究会開催	有識者ヒアリング、意見交換等
10月19日(火)	第1回運営委員会	シンクタンク事業に関わる協議

全労済協会だより vol.43 2010年8月

発行: **全労済協会**  
 (財)全国勤労者福祉・共済振興協会  
 発行人: 高木 剛 編集責任者: 小池 正明

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-11-17 ラウンドクロス新宿5階  
 ☎03-5333-5126(代表) ☎03-5351-0421 《URL》<http://www.zenrosaikyokai.or.jp>